

沼津市愛鷹山麓不法投棄事案：周辺環境のモニタリング結果について

(静岡県くらし・環境部環境局廃棄物リサイクル課)

1 概要

- (1) 沼津市愛鷹山麓の(有)スルガ産業による不法投棄事案について、県は平成 24～25 年度にかけて、行政代執行による崩落の危険性の除去工事等を行いました。
- (2) 県は行政代執行後の不法投棄現場が、周辺環境に与える影響を把握するためモニタリングを実施しています。
- (3) 平成 25 年度から、①不法投棄現場内の有害ガス等の発生状況、②不法投棄現場内の水質、③隣接する大沢川の水質について、モニタリングを実施しています。
- (4) モニタリング結果については、有識者にその評価を依頼しており、モニタリング開始以降、生活環境に影響を与える支障は確認されていません。
- (5) 平成 29 年度以降も、引き続き有識者と協議しながら、モニタリングを実施します。

2 検査結果

(1) 不法投棄現場内の有害ガスの発生状況

- ①不法投棄現場内の一部において、廃棄物の分解に伴う可燃性ガスが発生しています。しかし、直ちに火災が発生するような濃度ではありません。
- ②人体に有害な一酸化炭素や硫化水素の発生は認められません。

(2) 水質検査の状況

- ①行政代執行前に行った不法投棄現場等の水質検査において、生活環境保全上の支障又はそのおそれが認められる結果は確認されていません。
- ②平成 28 年度の水質検査の結果、昨年度と比較して一部の項目で数値の上昇が認められました。明確な原因は不明ですが、採水方法の影響等が考えられます。
- ③行政代執行後(平成 25～28 年度)の県の水質検査及び沼津市の河川水の水質検査結果から、不法投棄現場に起因する生活環境保全上の支障又はそのおそれは認められません。
- ④水質検査項目の詳細は、別紙をご参照ください。

3 有識者の意見

- ・不法投棄現場は廃棄物の分解が継続しており、ガスの発生状況を注視する必要がある。
- ・これまでの水質検査結果から、不法投棄された廃棄物による水質汚染等は認められない。
- ・数値の変動の明確な原因は不明であるが、採水方法等が影響した可能性がある。
- ・不法投棄現場の安定化を見るため、重要な項目のモニタリングを継続すること。

※愛鷹山麓産業廃棄物不法投棄モニタリング検討委員

島岡隆行(九州大学大学院教授)、岩堀恵祐(宮城大学教授)、小野雄策(日本工業大学元教授)

4 今後の対応

県は引き続き、①不法投棄現場内の有害ガスの発生状況、②不法投棄現場内の水質、③隣接する大沢川の水質について、モニタリングを実施します。

＜別紙：水質検査結果の状況＞

- 不法投棄現場内に設置した井戸及び隣接する大沢川から採水した水を検査しています。
- 基準値について、井戸水は廃棄物処理法に定める最終処分場の排水基準（処分場から河川等の公共水域へ放水する際の基準）（注1）、大沢川の水は水質汚濁に係る環境基準（注2）を採用しています。

1 人の健康に係る被害を生ずるおそれがある物質

項目	単位	基準値 (注1)	不法投棄現場内		基準値 (注2)	H27大沢川		H28大沢川	
			H27	H28		上流	下流	上流	下流
カドミウム	mg/L	0.1以下	0.0003未満	0.0003未満	0.003以下	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満
鉛	mg/L	0.1以下	0.005未満	0.005未満	0.01以下	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
砒素	mg/L	0.1以下	0.005未満	0.005未満	0.01以下	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
ほう素	mg/L	50以下	0.45	2.7	1以下	0.05未満	0.05未満	0.1未満	0.4
ふっ素	mg/L	15以下	0.16	0.41	0.8以下	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.08未満
7ソモニ7、7ソモニム化合物	mg/L	基準なし	6.1	58	基準なし	0.5未満	0.5未満	0.2未満	0.2未満
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	基準なし	0.2未満	0.5未満	10以下	0.4	0.4	0.5未満	1.1

2 水の汚染状態等を示す項目

項目	単位	基準値 (注1)	不法投棄現場内		基準値 (注2)	H27大沢川		H28大沢川	
			H27	H28		上流	下流	上流	下流
水素イオン濃度	—	5.8～8.6	7.1	7.4	6.0～8.5	7.3	7.3	7.1	7
電気伝導率	mS/m	—	71	175	基準なし	6	7.8	3.43	74.2
生物化学的酸素要求量	mg/L	60以下	5.3	21	10以下	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満
化学的酸素要求量	mg/L	90以下	18	44	基準なし	1.7	2.6	12	6.2
浮遊物質	mg/L	60以下	31	42	100以下	3	8.2	28	19
亜鉛含有量	mg/L	2以下	0.034	0.1未満	0.03以下	0.003	0.006	0.009	0.006
溶解性鉄含有量	mg/L	10以下	0.13	0.1未満	基準なし	0.03	0.03	0.1	0.1未満
溶解性マンガン含有量	mg/L	10以下	0.28	0.5	基準なし	0.01未満	0.01未満	0.1未満	0.1未満
クロム含有量	mg/L	2以下	0.01未満	0.04未満	基準なし	0.01未満	0.01未満	0.04未満	0.04未満
大腸菌群数	注3)	3,000以下	3,000未満	3,000未満	基準なし	1,400	1,400	120	48
窒素含有量	mg/L	120以下	12	51	基準なし	0.52	0.52	1	1.4
磷含有量	mg/L	16以下	0.13	0.23	基準なし	0.007	0.01	0.07	0.06未満

注3) 不法投棄現場内：個/cm³、大沢川：MPN/100 mL

担当 不法投棄対策班 連絡先 054-221-3810

(参考) 不法投棄現場と検査井戸の位置関係



画像©2016Google、TerraMetrics 地図データ©2016Google、ZENRIN

◎ 平成 28 年度のモニタリングの様子

